

## 玉川上水・野の花だより No. 37

### センニンソウ（仙人草）

中央大学研究開発機構・機構客員教授 東京大学名誉教授

石川 幹子

2026年 9月8日

玉川上水・国指定史跡の第三号橋から笹塚橋の右岸に、センニンソウ（仙人草）が咲きだしました。学名は、*Clematis terniflora* で、園芸植物で皆さんに愛されているクレマチスの仲間です。

つる植物で、日当たりのよい山野に見られる野の花で、玉川上水の中流域でも、多く見られます。下流域では、このエリアが唯一で、白い花が群生している姿は、ツルボの淡い紫色と呼応し、絵巻物をみているような美しい風景です。

白い花は、がく片で、4枚の花が十字形に開きます。2～3cmほどの小さな花です。雄しべは多数あり、がく片より短いため、十字形の花の上に広がり、奥行のある、多重構造の華麗な花となっています。

仙人草という名前は、果実に仙人のような白い羽毛が付くことに由来しているといわれます。オキナクサ（翁草）という野草がありますが、同じく日当たりのよい草地に咲き、果実の羽毛を「翁」にたとえたものです。高齢者を敬い、慈しむ、日本人の思いが偲ばれる野の花です。



センニンソウ 第三号橋～笹塚橋（右岸） 2026年9月7日